

洪水浸水想定区域について

・洪水浸水想定区域は、兵庫県によって指定、公表されたもので、大雨によって河川堤防が決壊、又は溢水が発生した場合に浸水することが想定される区域と深さを示しています。

浸水深の色の見方

5.0m~10.0m未満	5.0
3.0m~5.0m未満	3.0
0.5m~3.0m未満	0.5
0.5m未満	0

・当ハザードマップに示す洪水浸水想定区域の算定に用いられた雨量(想定最大規模降雨)は以下の通りです。
 武庫川流域: 511mm/24時間
 東条川流域: 788mm/2日

・雨の降り方や土地の状態、排水路等があることにより、洪水浸水想定区域以外でも浸水するおそれがありますので、十分な注意が必要です。

◆避難情報等の種別ととるべき行動

警戒レベル	避難情報等	どうしたらいいの
警戒レベル5	緊急安全確保	すでに災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとってください。
警戒レベル4	避難指示	災害のおそれが高いため、指定された避難場所か屋内の安全な場所へただちに避難してください。避難の際は、浸水箇所や土砂災害に十分注意してください。
警戒レベル3	高齢者等避難	避難に時間を要する方(ご高齢の方、体の不自由な方など)、その支援者は避難を開始してください。その他の方も情報の収集や持ち出し品の準備、避難場所の確認等、避難の準備をしてください。
警戒レベル2	注意報	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。
警戒レベル1	早期注意情報	災害への心構えを高めましょう。

非常持出品チェックリスト

- 水・非常食(3日~7日分)
- 貴重品(現金、通帳、印鑑)
- 衣料品(衣類、下着、毛布、タオル)
- ラジオ、懐中電灯、電池
- 卓上コンロ、ライター、マッチ
- 薬、ばんそうこう
- 日用品(ティッシュ、ラップ)
- 衛生用品(マスク、体温計等)

◆防災情報の入手方法

テレビ、ラジオ、新聞インターネット

防災行政無線の放送
自治会への連絡

三田市防災気象情報

NHK、サンテレビ、J-COM関西、ハニーエフエム(82.2MHz)等

エリアメール・緊急速報メール
さんだ防災・防犯メールによる配信

三田市ホームページ
https://www.city.sanda.lg.jp/

「災害緊急情報」をご参照下さい。

三田市ホームページ
https://www.city.sanda.lg.jp/

「災害緊急情報」をご参照下さい。

広報車、消防団による巡回、アナウンス

◆その他の防災情報

兵庫県気象情報

神戸地方気象台

兵庫県CGハザードマップ



◆避難の方法 災害発生危険性が高まる前に早めに避難しましょう!

避難所で避難する場合

- 車は使わず、歩いて避難しましょう。
- 川沿いや橋、がけ下などは危険ですので、近くを通らないでください。
- 動きやすい服装で、二人以上で避難しましょう。
- 外に出る前に火の始末、戸締りを忘れずに。電気のブレーカーも落としましょう。

屋内で避難する場合

●水害の場合
周りで浸水が始まった時は近くの高所や建物の2階以上に避難しましょう。

●土砂災害の場合
がけ、山から離れた側の2階以上の部屋に避難しましょう。

ポイント
 夜間、浸水が始まった時の避難は、足元が見えず危険
 土砂災害の犠牲者の多くは1階で被災

●地震の揺れと想定される被害

震度	被害
震度0	●人は揺れを感じない。
震度1	●屋内にいる人の大半が揺れを感じる。 ●電灯などのつり下げ物が揺らぐことがある。
震度2	●屋内にいる人の大半が揺れを感じ、眠っている人の大半が目覚める。 ●電灯が揺らぐことがある。
震度3	●屋内にいる人のほとんどが揺れを感じ、眠っている人の大半が目覚める。 ●電灯が揺らぐことがある。
震度4	●ほとんどの人が起き、眠っている人のほとんどが目覚める。 ●電灯などのつり下げ物が大きく揺れ、壁にある食器棚は音を立てる。 ●電柱が大きく揺れ、自動車を運転している車が揺らぐことがある。
震度5弱	●大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ●電灯などのつり下げ物が激しく揺れ、壁にある食器棚、書棚の本が落ちることがある。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。 ●電柱が揺れているのがわかる。道路に被害が生じることがある。
震度5強	●大半の人が物につかまらないうる歩くことが難しく、行動に支障を感じる。 ●テレビが台から落ちる。固定していない家具が倒れることがある。 ●傾斜が大きいブロック塀や土留めが倒れることがある。自動車の運転が困難になる。
震度6弱	●立てていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることもある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●傾斜性の低い木造建築物、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
震度6強	●倒れていることでも、はなはたと動くことができない。揺れははるかに強くなる。 ●固定していない家具のほとんどが移動、倒れるものが多い。 ●傾斜性の低い木造建築物は、傾くものや、倒れるものが多い。 ●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。
震度7	●固定していない家具のほとんどが移動し、飛ぶこともある。 ●傾斜性の低い木造建築物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。 ●傾斜性の高い木造建築物でも、まれに傾くことがある。 ●傾斜性の低い鉄筋コンクリート造の建築物では、倒れるものが多い。

今後30年以内にM8~9クラスの規模の地震が発生する確率が70~80%とされている「南海トラフ大地震」が発生すると、兵庫県の地震被害想定によれば三田市で最大震度が5強、死者は無く、負傷者11人、全壊1棟、避難者が13人と軽微な想定となっております。

また、三田市周辺には内陸直下型地震を引き起こす「有馬-高槻断層帯」、「六甲-淡路島断層帯」、「山崎断層帯」が分布しており、地震が発生すれば最大震度が6弱から5強揺れることが想定され、甚大な被害を及ぼす可能性があります。

家具の固定や防災備蓄を行うなど防災を意図した生活を普段から心がけましょう。

